

## 出穂から刈取り直前までの1か月以上は ①乾かさない・②ずっと溜めない・③すぐ落とさない

### 玄米外形の発達

(出穂後5日)

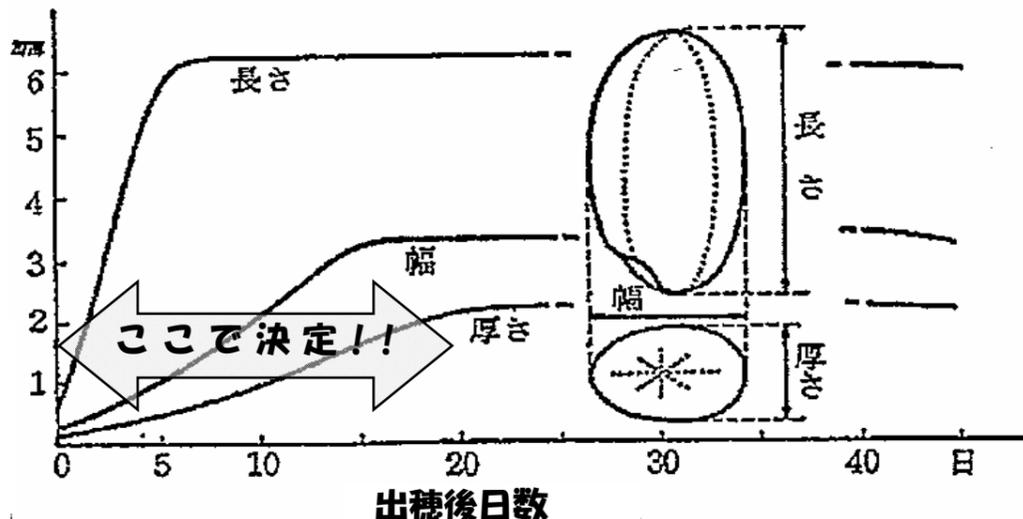
玄米の**長さ**が決定!

(出穂後15日)

玄米の**幅**が決定!

(出穂後20日)

玄米の**厚さ**が決定!



### 登熟の必須要素

- ★日射量 養分やデンプンを生成
- ★気温 20℃～25℃がベスト! 高すぎると稲自身の消耗が増える
- ★土壌養分 N(窒素)だけでなく、K(カリ)も登熟向上に必要
- ★灌水量

出穂期以降の人為的な管理はムスカシイ...

上図のように、出穂後20日間は特に要注意!!

今からできること  
それは...

稲は1日5トン  
(10aあたり)  
もの水を必要  
とします!!

## こまめな通水管理で乳白粒・胴割粒を防止しよう!!

- 収穫5日前まで、間断通水を行いましょう。
- 3日おきの間断通水で田面を乾かさないことが重要です。
- 水はけの悪い圃場では常時湛水は避けて下さい。
- 夜間通水で高夜温による稲体の消耗を抑える。
- 台風・フェーン現象時には、事前に入水して下さい。

### 落水が早すぎると...



詳しいことは、営農指導員にお尋ねください。

# 「斑点米カメムシ類の多発注意報」発令

当地区の調査でも、水田周辺雑草地におけるカメムシ類の生息密度は高く、すでに水田内への侵入も見られています。出穂とともに、水田内への侵入量も増加するので、地域全体の防除を徹底しましょう。

管内では無人ヘリ防除を実施していますが、個人防除の方は下記のとおり、遅れずに防除を実施しましょう。

調査結果は、100地点調査し、1地点あたり平均4.3頭、そのうち、飛翔性カメムシについては、平均2.5頭でした。

## 〔個別粉剤防除地区〕

散布 薬剤	ビームキラップジョーカー粉剤DL 4kg/10a
対象 病害虫	いもち病、カメムシ類、ウンカ類、 ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ
早生種 中生種	8月1日～4日

高温続きで出穂期が前進しています。安全使用基準に注意してください。